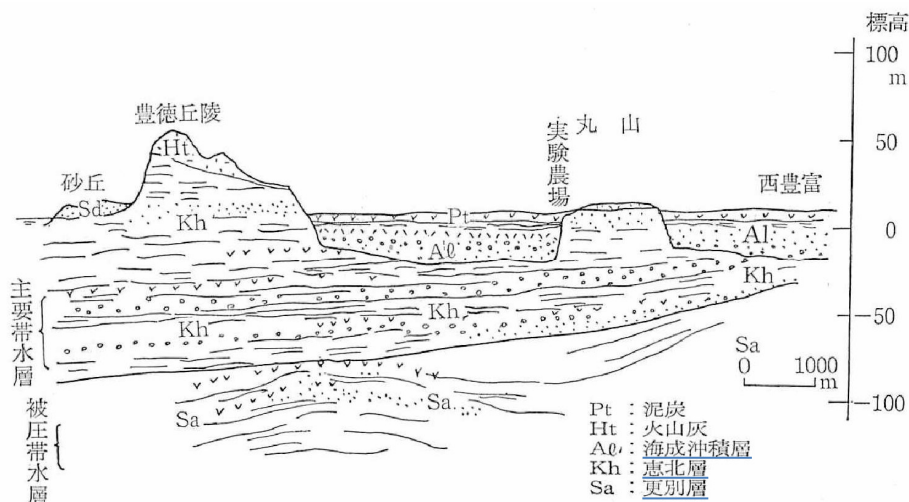


## 地形・地質

北海道の最北端に位置する天塩平野は、サロベツ原野の名で呼ばれており、そこに2万haにわたる泥炭湿地が広がっています。現在の天塩川は、サロベツ原野の南端をかすめて、天塩町付近で日本海に注いでいます。

## 地下水

サロベツ原野の地下水盆は南に閉じる三角形の形で、北と東は不透水性基盤の山地に接し、西は日本海に面しています。サロベツ原野に分布する帯水層<sup>\*</sup>は、深い層から、更別層、恵北層、および沖積層となっています。



サロベツ原野水文地質断面図（※下線は帯水層）



サロバツ原野周辺水文地質図 (\*下線は帯水層)

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)